

2004.11.20
No.2

こあじ冊子

～Little Tern Project ボランティア通信～

Topic

☆ イベントのお知らせ

☆ 2004年 コアジサシ情報 浦安市内で森ヶ崎出身のコアジサシが繁殖！！ 営巣地が草原に！？そしてデコイの設置まで 夢をつなぐ一つの巣～森ヶ崎で唯一の営巣確認～

☆ 特集 森ヶ崎水再生センター

☆ リトルターン・プロジェクトグッズ紹介

☆ スタッフ紹介

☆ 連載 コアジサシコラム 第1回

☆ 報告 NEC バードソン 2004 報告会



イベントのお知らせ

LTP 2004年活動報告会・交流会

- ◆ 日時:2005年1月30日(日) 午後2時30分～5時
 - ◆ 場所:東京港野鳥公園 ○○○
 - ◆ 内容:今年度の活動報告、そして来年度の活動予定についてスライドなどを交えてお話しします。また、交流会なども行う予定です。
 - ◆ 氏名・住所・TEL/FAX明記の上、リトルターン・プロジェクトホームページ: <http://www.metro-npo.net/littletern/>の申し込み窓口から、またはファックス(FAX 番号:045-592-6017)でお申し込み下さい。
- ※ 2004年11月29日(月)より、申し込みを開始します。

2004年



コ
ア
ジ
サ
シ
情
報

浦安市内で森ヶ崎出身のコアジサシが繁殖！！

浦安市内にコアジサシが営巣しているのを発見したのは、5月24日。森ヶ崎水再生センターの屋上で初めて発見されたときと同じ状況で、コンクリートの上に直接卵を産んでいました。臨時駐車場として利用されているこの場所は、幸いにも夏休みまで使用予定はなく、使用を控えてもらうように浦安市などに協力をいただきました。せっかく産んだ卵が転がらないようにするために卵の下に砂利を敷く、ヒナがカラスなどから逃げられるようなシェルターを設置する...など、コアジサシの営巣を見守る日々が始まりました。

営巣をはじめたコアジサシの成鳥に環境省の標識リングが付いているのを発見したのは6月10日ごろ。「成鳥についている！」ということさえ珍しいのですが、なんと今回はペアの2羽ともリングがついていました。そこで、行徳野鳥観察舎友の会のスタッフの佐藤達夫さん、山口誠さんが中心となり、6月16・18日の調査で、この2羽が2002年に森ヶ崎水再生センターでヒナの時に標識された(つまり2歳!)同郷ペアであることが確認されました。専門家によると「同じ場所で生まれた2羽がペアをつくり、生まれた場所の近くに戻って繁殖したのは国内で報告例はなく、しかもどちらも2歳というのは初めて!!」ということで、嬉しいニュースとなりました。6月末には2羽のヒナが誕生、その後も順調に成長し、他の巣のヒナと同様に、7月下旬ごろ無事に巣立っていきました。(Y.M)



デコイのそばに降り立ったコアジサシ
左:本物のコアジサシ、右2羽:デコイ

営巣地が草原に！？そしてデコイの設置まで

みなさまのご協力により、4月11日に最後の草むしりが行われ、営巣地は草の生えていない状態になりました。ところが悔しいことに、1ヶ月後にはスラッジライト部分に草がびっしり。植物の勢いは止まりませんでした。おそらく、昨年生えた植物の種がたくさん落ちていたのでしょう。6月には、営巣地の約3分の2が草原のようになりました。コンクリートがら部分は営巣地の3分の1くらいあり、草が生えず白く輝いていました。ここでなら営巣してくれるかもしれない。草の生えていない部分に願いを託すのでした。

5月中旬を過ぎても、なかなかコアジサシが営巣してくれません。去年の初営巣確認は5月16日、一昨年は18日でした。ところが、今年は、上空を3-5羽が飛び交うばかり。そこで、観察結果にもとづき、話し合いをした結果、デコイ(コアジサシの模型)を設置することが決まりました。5月29日、東京港野鳥公園と早川雅晴さんの協力を得て38体のデコイを集め、設置しました。

すると、設置している最中に、コアジサシが降りているではないですか!!効果できめん、と思われました。デコイ設置してから数日間、デコイを置いた区画や、その周辺に数羽下りている様子が観察できました。なかには、デコイに餌をさしだす雄もいました。

ところが、デコイに誘引されてきたのはコアジサシだけではなく、コアジサシの天敵であるカラスがデコイを一つ一つひっくりかえし始めました。そして、デコイ設置1週間後、コアジサシは全く降りる様子が見られなくなりました。デコイはコアジサシを誘引する効果があります。しかし、今回はカラスによる邪魔が入ったことで、営巣の妨げになったと言えるでしょう。(K.T)

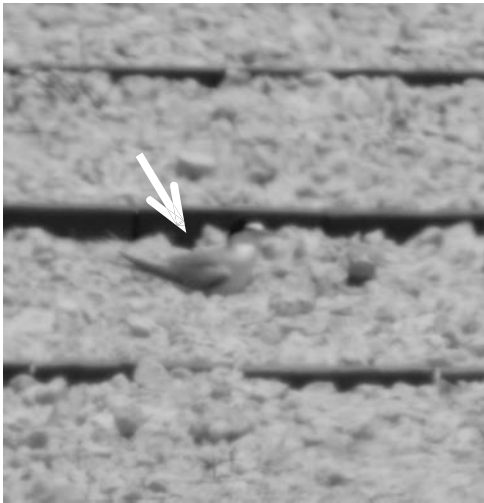


手前:コンクリがら、奥:スラッジライト



デコイをつつくカラス

夢をつなぐ一つの巣 ～森ヶ崎で唯一の営巣確認～



繁殖期も終盤にさしかかった森ヶ崎で、ようやく今季最初のコアジサシの営巣が確認されました。7月4日のLTP観察会の当日に、屋上営巣地で抱卵中の1ペアが見つかり、参加者全員で観察することができたのです。写真はとりあえずの記録用にと、陽炎がもやもやしているなかで手持ちデジスコ撮影したもので、かなり不鮮明です。焼けるような夏の日差しのもとで親鳥が卵を抱いている様子がわかるでしょうか。このままうまく育っても8月中頃の渡りのタイムリミットぎりぎりですが、どうか無事に巣立って行ってほしいと誰もが願っていました。

ところが、その2日後の7月6日にこの巣はハシブトガラスに襲われ、3個の卵は全て食べられてしまいました。今年唯一の営巣が失敗で終わったのは本当に残念です。しかし、森ヶ崎で今年コアジサシが営巣したという事実は残り、来年以降に大きく夢をつないでくれる貴重な一つの巣となりました。
(Y.O)

	特集
森	<p>森ヶ崎水再生センター・大田区との協働事業が4年目となる今年、全国でも先駆けとなる取り組みが評価され、水再生センターが平成15年度全日本建設技術協会賞(分野B)受賞の栄誉を受けました。またセンターのキャッチフレーズに「こあじさしのふる里」が採用されるという嬉しいニュースもありました。受賞の経緯と喜び、今後の活動への意気込みを、LTPと森ヶ崎水再生センターの架け橋となり活動を支援続けてくださった工事担当係長の守田敏明さんにお話してもらいました。</p>
ヶ	
崎	
水	
再	
生	
セ	
ン	
タ	
ー	



全日本建設技術協会賞受賞の経緯を教えてください

全建賞は、毎年全国から優秀な建設事業を実施した機関が選考され与えられる、歴史のある賞で、平成15年度からは技術だけでなく、事業の進め方に優れた成果をあげた機関も選考の対象となりました。森ヶ崎水再生センターはNPOとの協働が成果をあげ、さらに地域住民参加型の取り組みであることが建設事業全体の先駆例として評価されたのでしょうか。下水道事業では、地域住民の方々と共に事業に取り組む機会がほとんどありません。ですからこの取り組みは画期的な事例といえるでしょう。

キャッチフレーズ「こあじさしのふる里」の由来は？

水処理センターから水再生センターへと名称変更する際にキャッチフレーズをつけようという案がでました。元々名称変更は現在の下水道事業が単に水の処理というよりは水の再生・再利用に深くかかわるものであるという考えからです。水の再生をすることは東京湾の水環境を再生することです。そこに水辺の鳥であるコアジサシが新たなイメージキャラクターとして入ることで、所員や地域住民の皆さんの地域環境に対する視野がぐっと広がるのではないのでしょうか。(S.S)



守田敏明さん 水再生センターきっての環境派で、趣味は溪流釣りやバードウォッチング。コアジサシの視点から水環境を考えています。

LTPグッズ紹介

Little Tern Project ポストカード販売中

LTP ホームページ

(URL <http://www.metro-npo.net/littletern/>)

の「ポストカード申し込み窓口」にて販売しています。

1セット12枚組1,000円



Little Tern Project サポーターズカード

ボランティア作業や観察会に参加してくだ

さった皆様に「サポーターズカード」というものを配布しています。イベント参加、または絵葉書を購入するとポイントがたまります。10ポイントたまるとコアジサシのヒナのかわいらしいぬいぐるみが…そして20ポイントたまると…それはたまってからのお楽しみ



スタッフ紹介

早川雅晴(船橋法典高校教諭)です。



私がコアジサシの調査を始めたきっかけは、私の住む千葉市には幕張メッセがあり、ここの仮設駐車場でもコアジサシが営巣していることを1990年に見つけてからです。仮設駐車場は一面簡易舗装が施してありますが、風化した所から砂利が現れています。周囲は柵で囲まれているのですが、人通りが多く、こんな所でも営巣しているのかと驚きました。

場所が遠いため、あまり参加できませんが、コアジサシの保護のために今後とも関わらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

山田恵美(大田区立馬込文化センター)です。



環境講座で大田区の公害の歴史やリサイクル、地域の環境の勉強がきっかけで、環境講座が恒例になり、海を探しに行こうと言うサロンの会ができました。そこで増田さんが2001年にコアジサシを発見して必然的にプロジェクトに参加しています。

環境保護のために自分の出来ることから始めたいと思っている仲間がたくさんいることがとても嬉しいです。私の夢は、自分の住んでいる地域の公園や埋立地を走って、平和島や森ヶ崎の海が泳げるようなきれいな海になることです。

連載 コアジサシ学

第1回 コアジサシは禿げるー?ー

コアジサシと言えばキリッとした顔立ちが特徴的ですが、写真のように頭が禿げてしまった愉快な顔のものもいるのです。

この正体はコアジサシの冬羽です。コアジサシも他の多くの鳥と同様に年2回換羽を行います。日本に飛来する時は夏羽でやっきます。これがみなさんにおなじみの姿です。しかし、繁殖が終わる南帰する頃になると冬羽になりはじめ徐々に頭のラインが後退しはじめまるで人間の男性のようです。最後には禿げてしまうのです。(W.K)



冬羽に移行中のコアジサシの顔

NEC 学生バードソン 2004 報告

9月26日(日)、自然保護チャリティーイベント「NEC 学生バードソン 2004」(6月13日開催)の報告会が実施されました。主催は、首都圏の大学生が中心となって運営する「学生バードソン 2004 実行委員会(事務局:Field Assistant Network)」。当日は募金がリトルターン・プロジェクトへ贈呈されました。

今年の学生バードソンには、森ヶ崎のコアジサシ保全の為に募金を集めようと、鹿児島大学から北海道大学まで日本全国の大学生が競技に参加してくれました。社会人特別チームも含めると、158名 39チームがエントリー、リトルターン・プロジェクトからも、「もりもり調査隊」「ベシティターン」の2チームが出場しました。

た。当日は全国的に雨天だったにもかかわらず、日本全国でバードウォッチングが繰り広げられました。

結果、集まった募金総額は 1,114,457 円。1,257名もの方々が募金してくださいました。こんなにも多くの募金をしてくださったみなさまに、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。(Y.A)

参考:「NEC学生バードソン 2004」とは? バードウォッチングと募金活動を組み合わせ、競技形式にした自然保護チャリティーイベント。今年で16回目を迎え、これまでタンチョウの保護活動や霧多布湿原の土地買い取りなど日本全国の自然保護活動支援のために実施されている。今年の募金先はリトルターン・プロジェクト。

URL: <http://www005.upp.so-net.ne.jp/fan/>

◇ お問い合わせ先

住所: 〒143-0015 東京都大田区大森西 5-10-22 増田方 リトルターン・プロジェクト
E-mail: littletern_pj@hotmail.com
Tel: 080-1173-7534 (受付時間...10:00~20:00)

◇ HP-URL <http://www.metro-npo.net/littletern/>

◇ 発行 リトルターン・プロジェクト

◇ 編集 柴田英美・戸津久美子・染谷さやか・赤瀬悠甫

◇ イラスト・写真撮影 岩本久則・大塚豊・伊東真寿美ほか